

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成24年5月14日

【四半期会計期間】 第63期第3四半期(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

【会社名】 株式会社カワニシホールディングス

【英訳名】 KAWANISHI HOLDINGS, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野瀬 洋輔

【本店の所在の場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役副社長執行役員管理本部長 高井 平

【最寄りの連絡場所】 岡山市北区今一丁目4番31号

【電話番号】 086-245-1112

【事務連絡者氏名】 取締役副社長執行役員管理本部長 高井 平

【縦覧に供する場所】 株式会社カワニシホールディングス東京事務所
(東京都千代田区大手町二丁目6番1号
朝日生命大手町ビル16階)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第62期 第3四半期 連結累計期間	第63期 第3四半期 連結累計期間	第62期
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日	自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日	自 平成22年7月1日 至 平成23年6月30日
売上高	(千円)	47,130,643	55,184,004	62,135,924
経常利益	(千円)	538,303	745,666	574,391
四半期(当期)純利益	(千円)	297,432	334,795	312,270
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	307,742	297,090	331,517
純資産額	(千円)	2,016,060	2,280,817	2,039,835
総資産額	(千円)	24,121,416	30,836,475	20,402,920
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	53.01	59.67	55.65
自己資本比率	(%)	8.4	7.4	10.0

回次		第62期 第3四半期 連結会計期間	第63期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日	自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	25.22	40.55

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第62期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（医療器材事業）

当第3四半期連結会計期間において、医療機器・器材卸事業を行っておりますサンセイ医機株式会社の全株式を取得し、当社100%連結子会社といたしました。

また、サンセイ医機株式会社を子会社化したことにより、同社の子会社であるサンセイ・メディック株式会社は当社の連結子会社となりました。

この結果、平成24年3月31日現在では、当社グループは、当社、子会社8社及び持分法関連会社1社により構成されることとなりました。

なお、これまでセグメント情報において介護用品事業を「その他」と表示しておりましたが、第1四半期連結累計期間より「介護用品事業」とセグメント名を変更いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」を参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等を行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び当社の関係会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

医療器材事業

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。特に、商権獲得が進んだ島根、兵庫、香川、徳島の売上高は前年同期比で10%超の増収となりました。その他、本年1月より連結対象となったサンセイ医機株式会社(福島県)の売上が加わり、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比140.0%となりました。

整形外科関連商品は、手術件数が低調だったことに加え、昨年6月に(株)カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響が売上高を押し下げました。その一方で、島根、愛知、関西地域(奈良、大阪)、道東(北海道帯広・釧路地域)でのシェアアップが進みました。また、手術関連消耗品と同様に、サンセイ医機の売上が加算され、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比109.4%となりました。

循環器関連商品は、前期に心臓カテーテル検査治療関連の大型設備機器を受注した反動もあり、設備関連の売上高は35.8%減少しました。しかし消耗品は、新規顧客開拓が成功した山口での売上が大きく伸びた他、昨年5月に発売された薬剤溶出ステント及び不整脈治療関連商品も売上高を押し上げました。これにサンセイ医機株式会社の売上が加わった結果、循環器関連商品全体の売上高は前年同期比107.5%となりました。

その他、眼科関連商品も売上高が前年同期比120.9%と好業績を上げました。前期に大型設備・備品の販売があったことの反動により、売上高の伸びは抑えられましたが、全体では、サンセイ医機株式会社の業績加算により、大幅な増収となりました。また利益面では、人員増に伴う販売費及び一般管理費の増加がありました。売上総利益率の改善及びサンセイ医機株式会社の業績加算により、売上高同様大幅な増益となりました。その結果、医療器材事業は、売上高464億2百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益7億79百万円(前年同期比39.2%増)となりました。

ライフサイエンス事業

免疫系試薬の新製品が発売されたことに伴い、いくつかの急性期大病院において、これまで外部に委託していた検査の一部を自らの病院内で行うようになりました。これによって同製品の販売が大きく伸びました。それに加え、検査室の機器買い換え案件も複数受注したため、診断薬領域の売上高は前年同期比116.1%となりました。

基礎研究領域の売上高は、科学研究費の3割削減計画（現在、撤回されております）の影響から岡山では売上が停滞しましたが、昨年12月頃から徐々に回復したことに加え、遺伝子や代謝反応の解析の窓口受託が増加し、前年同期比103.3%となりました。

一方利益面は、低利益商品の販売比率が増加したことに加え、販売管理システムの更新による販売費及び一般管理費の増加が利益を押し下げました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高36億68百万円（前年同期比 7.1%増）、営業損失 9 百万円（前年同期 営業利益25百万円）となりました。

S P D事業

医療材料の一括購買窓口を受託した施設数が増加したため、売上高が大きく伸びました。

その結果、S P D事業は、売上高69億39百万円（前年同期比 42.5%増）、営業利益51百万円（前年同期比 84.8%増）となりました。

介護用品事業

営業拠点の新設により、迅速な対応によるサービス力の向上を図ったほか、営業エリアを拡大しました。この効果も加わり、在宅ベッドの新規レンタル契約が大きく増加しました。

その結果、介護用品事業は、売上高 5 億99百万円（前年同期比 16.2%増）、営業利益35百万円（前年同期比 6.6%増）となりました。

なお、「介護用品事業」は前期まで「その他事業」と表示しておりましたが、第1四半期連結累計期間よりセグメント名を変更いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」を参照ください。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は551億84百万円（前年同期比 17.1%増）、連結経常利益は7億45百万円（前年同期比 38.5%増）、連結四半期純利益は3億34百万円（前年同期比 12.6%増）となりました。

なお、連結四半期純利益の増益率が連結経常利益の増益率より25.9ポイント低いのは、主に以下の2つの理由によるものです。

前期の第1四半期連結累計期間に、子会社の合併に関して税効果会計を適用し繰延税金資産を計上した。

第2四半期連結累計期間に、法人税法が改正され法人税率が引き下げられたため、繰延税金資産を取り崩した。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は308億36百万円となり、前連結会計年度末と比べ104億33百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が22億11百万円、受取手形及び売掛金が63億75百万円、商品が7億64百万円それぞれ増加したことによるものであります。

また、負債は285億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ101億92百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が69億28百万円、短期借入金が22億89百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

なお、資産及び負債の金額が前連結会計年度末と比べ著しく変動しているのは、平成24年1月4日付けで、サンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会社を連結子会社化したことなどによるものです。

純資産は22億80百万円となり、前連結会計年度と比べ、2億40百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益により3億34百万円増加した一方で、配当金により56百万円、その他有価証券評価差額金により37百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、2.6ポイント減少し、7.4%となりました。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,000,000
計	18,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,250,000	6,250,000	東京証券取引所 (市場第二部)	株主としての権利内容に制 限のない標準となる株式 1単元の株式数100株
計	6,250,000	6,250,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日		6,250,000		607,750		343,750

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 639,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,609,600	56,096	
単元未満株式	普通株式 1,300		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,250,000		
総株主の議決権		56,096	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式数には、証券保管振替機構名義の失念株式1,000株(議決権10個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己保有株式が次のとおり含まれております。

自己保有株式 26株

3 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カワニシ ホールディングス	岡山県岡山市北区今 1-4-31	639,100		639,100	10.23
計		639,100		639,100	10.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あけぼの監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,091,945	5,303,501
受取手形及び売掛金	10,482,676	² 16,858,476
商品	2,692,088	3,456,459
その他	¹ 821,847	¹ 636,612
流動資産合計	17,088,558	26,255,050
固定資産		
有形固定資産	2,253,633	2,906,733
無形固定資産		
のれん	208,149	503,826
その他	132,256	153,265
無形固定資産合計	340,405	657,092
投資その他の資産	¹ 720,323	¹ 1,017,599
固定資産合計	3,314,361	4,581,425
資産合計	20,402,920	30,836,475
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,894,807	² 20,823,454
短期借入金	2,094,926	4,384,214
未払法人税等	190,577	250,679
その他	812,224	911,167
流動負債合計	16,992,535	26,369,515
固定負債		
社債	-	60,000
長期借入金	638,953	1,055,568
退職給付引当金	95,015	324,765
役員退職慰労引当金	553,906	622,547
その他	82,674	123,260
固定負債合計	1,370,549	2,186,142
負債合計	18,363,084	28,555,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,868,502	2,147,189
自己株式	834,099	834,099
株主資本合計	1,985,902	2,264,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,933	16,227
その他の包括利益累計額合計	53,933	16,227
純資産合計	2,039,835	2,280,817
負債純資産合計	20,402,920	30,836,475

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	47,130,643	55,184,004
売上原価	42,129,531	49,292,521
売上総利益	5,001,112	5,891,483
販売費及び一般管理費	4,441,612	5,125,159
営業利益	559,500	766,323
営業外収益		
受取利息	1,370	1,966
受取配当金	1,571	1,124
持分法による投資利益	168	628
その他	12,506	15,478
営業外収益合計	15,617	19,197
営業外費用		
支払利息	34,669	38,262
その他	2,145	1,592
営業外費用合計	36,814	39,854
経常利益	538,303	745,666
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,656	-
有形固定資産売却益	-	964
受取補償金	-	11,047
特別利益合計	4,656	12,011
特別損失		
有形固定資産除却損	2,244	7,679
投資有価証券評価損	-	4,326
商品評価損	-	46,428
特別損失合計	2,244	58,433
税金等調整前四半期純利益	540,715	699,244
法人税、住民税及び事業税	148,510	310,516
法人税等調整額	94,771	53,931
法人税等合計	243,282	364,448
少数株主損益調整前四半期純利益	297,432	334,795
四半期純利益	297,432	334,795

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297,432	334,795
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,309	37,705
その他の包括利益合計	10,309	37,705
四半期包括利益	307,742	297,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,742	297,090
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第3四半期連結会計期間より、サンセイ医機株式会社の株式を新たに取得したため、同社を連結の範囲に含めております。 また、サンセイ医機株式会社を子会社化したことにより、同社の子会社であるサンセイ・メディック株式会社は当社の連結子会社となりました。
(2) 変更後の連結子会社の数	8社

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額	1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額
流動資産 31,783千円	流動資産 30,178千円
投資その他の資産 37,541千円	投資その他の資産 40,811千円
	2 四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当第3四半期連結会計期間末日の残高に含まれております。
	受取手形 90,063千円
	支払手形 426,038千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
	1 受取補償金 平成23年12月1日から平成24年3月31日迄の期間の逸失利益に対する東京電力株式会社からの損害補償金であります。

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月22日 定時株主総会	普通株式	56,110	10.00	平成22年6月30日	平成22年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	56,108	10.00	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	38,431,959	3,407,138	4,776,190	515,354	47,130,643		47,130,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,780,961	16,802	93,219	213	1,891,198	1,891,198	
計	40,212,920	3,423,941	4,869,410	515,568	49,021,842	1,891,198	47,130,643
セグメント利益	560,119	25,858	28,116	33,447	647,542	88,041	559,500

(注)1 セグメント利益の調整額 88,041千円には、セグメント間取引消去1,128千円、各報告セグメントに配分しない
 全社費用 89,170千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門
 費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	44,095,076	3,647,455	6,842,575	598,895	55,184,004		55,184,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,306,967	21,173	96,742	292	2,425,174	2,425,174	
計	46,402,043	3,668,629	6,939,318	599,188	57,609,178	2,425,174	55,184,004
セグメント利益 又は損失()	779,777	9,830	51,966	35,640	857,554	91,231	766,323

(注)1 セグメント利益の調整額 91,231千円には、セグメント間取引消去8,999千円、各報告セグメントに配分しない
全社費用 100,230千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門
費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 前連結会計年度の末日に比べて、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変
動しております。これは平成24年1月4日付けでサンセイ医機株式会社及びサンセイ・メディック株式会社
を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「医療器材事業」に計上したことによるもの
であります。前連結会計年度に比べて増加したセグメントの資産の金額は「医療器材事業」が7,756,282千円
であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、昨年度まで「その他」に含めておりました「介護用品事業」を独立
したセグメントとして表示しております。これは「介護用品事業」において組織体制の変更があり、積
極的な出店を行った結果、売上高、セグメント利益とも増加が見込まれることから、グループにおいて
「介護用品事業」の重要性が高まったことによるものであります。

なお、報告セグメント「その他」の区分には「介護用品事業」しか属していなかったため、第1四半
期連結累計期間の表示区分より削除しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医療器材事業」セグメントにおいて、サンセイ医機株式会社の株式取得時における取得原価が取
得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして認識し
ております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、347,178千円であり
ます。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 サンセイ医機株式会社

なお、サンセイ医機株式会社の子会社であるサンセイ・メディック株式会社も同時に取得しました。

事業の内容 医療機器・器材卸事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループの医療器材販売ネットワークの更なる拡大を目指すとともに、両社が持っている強みを共有・活用することで、サービス品質のバリューアップを図ることが、当社グループの企業価値向上に資すると判断したためであります。

(3) 企業結合日

平成24年1月4日

(4) 企業結合の法的形式及び結合後企業の名称

企業結合の法的形式 株式取得

結合後企業の名称 サンセイ医機株式会社

(5) 取得した議決権比率

100%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価としてサンセイ医機株式会社の発行済株式総数の全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成24年1月1日から平成24年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価(現金)	1,850,002千円
取得に直接要した費用(デューデリジェンス費用)	36,719千円
取得原価	1,886,721千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

347,178千円

(2) 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	53円01銭	59円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	297,432	334,795
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	297,432	334,795
普通株式の期中平均株式数(株)	5,610,933	5,610,874

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 5月14日

株式会社カワニシホールディングス
取締役会 御中

あけぼの監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 三 瓶 勝 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 東 本 浩 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カワニシホールディングスの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年7月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カワニシホールディングス及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。